

取引先の**変化**に気づくために 貸借対照表の **メカニズム**を知ろう

貸借対照表で注目すべき勘定科目と、それらが変動するメカニズムについて解説します。

1

流動資産
(現金・預金)

「現

預金」はすべての科目に通じる・変化しうる

勘定科目です。売上と原価により利益が発生すると現預金が残る、赤字になると減っていきま。では現預金と他の科目との関係について説明していきま

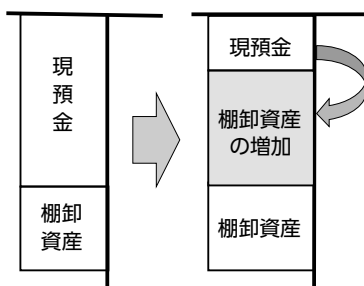
●現金↓棚卸資産

商売を始めるには、商品や原材料などの棚卸資産の購入が必要となります。その際には、現預金が棚卸資産に振り替わることで減少します(図表1)。

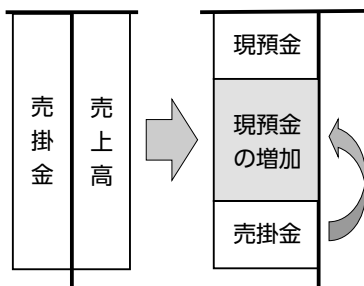
●売上↓売掛金↓(受取手形↓)現金

売上が発生すると売掛金が発生して、販売先から売掛金が期日に振り込まれることで現金化します。ただし、途中で受取手形を経由することもあります

図表1 現預金と棚卸資産の関係



図表2 現預金と売掛金の関係

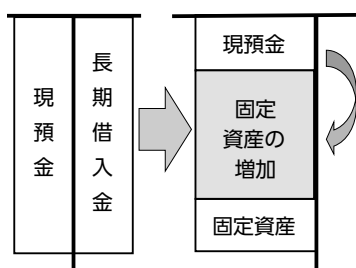


(図表2)。

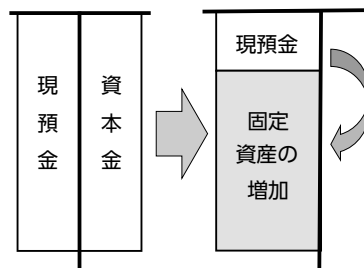
●長期借入金↓現金↓固定資産

工場の設備投資のような多額の支出が伴う場合、手元の現預金では不足するケースが多いでしょう。その場合は、長期借入金で資金調達し、それにより機械設備などの固定資産を購入す

図表3 長期借入金と固定資産の関係



図表4 資本金と固定資産の関係



ることにあります(図表3)。

●資本金↓現金↓固定資産

企業を立ち上げるために投入した資本は、最初は現預金で保管されていますが、工場などの設備投資により、機械設備や土地・建物といった固定資産などに変化します(図表4)。